

重粒子線治療を受けられた皆様へ

量子科学技術研究開発機構QST病院では、最新の重粒子線と陽子線、高精度X線治療で同じ患者さんの画像に対して照射をした時に、体に吸収される放射線にどのように違いが生じるかを比較する研究を計画しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[研究課題名] X線、陽子線、炭素イオン線での線量分布の比較研究

[研究実施期間] 許可日～2023年3月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 野元 昭弘

[研究の目的] この研究の目的は、最新の重粒子線と陽子線、高精度X線治療で同じ患者さんの画像に対して照射をした時に、体に吸収される放射線にどのように違いが生じるかを比較することです。

[研究の方法]

●対象となる方々

2013年4月1日から2020年7月末までに、新治療研究棟で肺、膵臓、直腸、頭頸部の病変に対してスキャンニング照射による重粒子線治療を受けた方。

●利用する情報

治療計画用CTデータ

新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

患者様の権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することはあります。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることは絶対にありません。（研究機関が規定する個人情報保護規程等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2021年5月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。 期限を過ぎた後でお申し出いただいた場合でも、可能な限りデータを解析から取り除きますが、個人情報を切り離して集計された情報は取り除けない場合があります。そのような場合であっても、患者さんの個人情報が公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 事務課

電話：043-206-3306（平日；9：00～17：00）

